

科目名	中国語	英文表記	Chinese	2017/3/16			
科目コード	1023						
教員名：庄子一成 技術職員名：				作成			
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	1年	選	履修	1単位	講義	後期	
科目目標 【MCC目標】	中国語学習を通し、中国語と中国語圏の現状を理解するとともに、中国語を実際に使える基礎的な能力を身につける。もって外国での仕事に臆することなく従事する気概を育てる。[IX-G] 未来の多くの可能性から技術の発展と持続的社会的な在り方を理解し、自己のキャリアを考えることができる。						
総合評価	授業に対する取り組み(自学自習を含む)40%、読み30%、話す30%の割合で評価する。実技主体なので定期試験は行なわない。積極的な授業に対する参加を重要視する。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	40%	① 中国語圏をめぐる現状と中国語のしくみを理解し、練習問題の解答ができる。	受講態度と自学自習(練習問題)の実施状況を授業中に確認する。	授業時の熱心さと積極的な質問等により練習問題の解答ができる。	積極的な受講態度と練習問題の解答ができ、基本的な事項を理解している。	誠実な受講態度と練習問題への取り組みで、基礎的な事項を理解している。	
	30%	② 読み。文の基本的な構造を理解したうえで、正確な発音で読むことができ、それが聞いて分かるものとするができる。	教科書を読むことで評価する。	文や単語の切れ目に注意し、大声で自信を持って、正確な発音で読める。聞いて内容がわかる。	文や単語の切れ目に注意し、正確な発音で、聞いてわかるように読め、発音の基本はできている。	正確な発音で読め、発音の基礎は理解している。	
30%	③ 話す。適切なスピードで、スムーズに読むことができ、自己紹介も聞いてわかるように話せ、話す基本ができている。	教科書の指示されたページの音読、又は自己紹介で評価する。	読みがスムーズで、自己紹介も聞いてわかり、話す基本ができている。	読みがスムーズで、自己紹介も概ね聞いてわかり、話す基本を理解している。	読みが聞いてわかり、自己紹介もなんとかわかり、話す基礎は理解している。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎			○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	0	100	100	
中国語・中国語圏理解	①				40	40	
読み	②				30	30	
話す	③				30	30	
						0	
授業概要、方針、履修上の注意	教養を基本にし、普通話(中国大陸で普及している)と簡体字を教授する。 ピンイン(中国式ローマ字)による読みを重視し、視覚によらない、聴く、話す力をつける。						
教科書・教材	「(新高校版)中国語はじめの一步」(白水社)使用。 発音など、プリントで補充する。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	ウォーミングアップ講座	2	中国語圏を取り巻く現状と中国語のしくみを理解できる。	教科書該当部分の復習	
17	発音	2	中国語の発音、その特徴を理解し、発音できる。	教科書該当部分の復習	
18	初対面の挨拶	2	構文「〇〇は～～です」名詞述語文の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
19	これは何ですか？	2	同上構文の否定形と疑問形の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
20	どこに行きますか？ 小テスト	2	構文「〇〇は～～する」、「有る」動詞述語文の理解と、応用ができる。第1課とプリントの音読	教科書該当部分の復習	
21	買い物	2	構文「〇〇はどんなである」形容詞述語文と「いくつ」の理解と、応用ができる。	教科書該当部分の復習	
22	日程の説明	2	「いつ～～する」。月日、曜日、時間、スケジュールの確認の言い方、尋ね方ができる。	教科書該当部分の復習	
23	食事をする中間テスト	2	「～～を」、「どこで」。目的と場所の言い方の理解と、応用ができる。第5課とプリントの音読	教科書該当部分の復習	
24	家族は〇〇人です。	2	家族紹介ができる。	教科書該当部分の復習	
25	いつから始めますか？	2	「いつから」、「どれぐらいの期間/時間」の言い方、尋ね方ができる。	教科書該当部分の復習	
26	〇〇したことがある	2	過去の経験の言い方ができる。	教科書該当部分の復習	
27	～～できますか？	2	「～～できる」の言い方の理解と応用ができる。	教科書該当部分の復習	
28	今何をしていますか？	2	「～～が好きだ」と動詞述語文の応用ができる。	教科書該当部分の復習	
29	自己紹介	2	自己紹介ができる。	教科書該当部分の復習	
30	総合評価	2	第12課の自己紹介の音読、又は自己紹介。	教科書該当部分の復習	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	語学は復習が必須である。毎日CDを聞き、復習する。また1課ごとの練習問題を解くこと。次の授業で確認する。			週0.5時間×15回	
②	少なくとも毎日5分音読の練習をしてほしい。			週0.5時間×15回	
③	前半7週間毎日5分発音練習を行う。発音がすべて(読む、聞く、話す)の基礎である。			週0.5時間×7回	
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)